滿州日報

市價　元寶六吊百文　六三吊二百
紅標價錢五吊四百文至五吊
市共上車三十餘輛
塲東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連
一フールスカップ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一粲紙　四十枚續　十四錢

一椅子
一箪笥
一卓子
一卓子掛
一厨房用戸棚

一圓五十錢以上四圓五十錢
三十圓以上三千五圓
四圓五十錢以上十三圓五十錢
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一綿毛布　一枚毎ノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜徳火鉢　一對　六圓以上九圓

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料　一行五號二十字詰　一ヶ月以内銀十五仙乃至十仙　一長期連掲減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

告示

一、七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し
一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし
二、當籤者は七月十五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若し此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す
三、當籤金額
一等銀五十圓　二等銀拾圓
三等銀二圓　四等銀一圓

譯文
七月四日第八回買鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票作爲歸廢棄爲此特示

一、定爲
頭等銀五十圓　二等銀拾圓
三等銀二圓　四等銀一圓
第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

[illegible]

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

大連出帆
●横濱丸　十八日午後二時出帆門司神戸行
●營口丸　十九日午前出帆太沽、芝罘、門司、神戸行
●相模丸　卅一日出帆釜山、長崎、門司、神戸行　太沽、芝罘、仁川、

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告

●潮洲丸　七月十四日入港
東營口公園地横
代理店　ブンルユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告

●摩耶山丸　十四日　門司神戸行
●第二乾坤丸　十四日　門司行

海岸東稅關西
松茂洋行船舶部　電話（五二七）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所
横濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、大連、旅順、奉天、遼陽、芝罘、鐵嶺、安東縣
（電話 支店 八十番／本店 百八番 事務室）

營業項目
一定期預金　三ヶ月　五分
（長期存欵）六ヶ月　按年五分五厘
一ヶ年　六分
一當座預金　按年　四分五厘
（暫存欵）日歩　一錢二厘三毛
一小口當座預金　按年五分一厘一毛
（零碎暫存欵）日歩一錢四厘
一送金爲換取組先　東京、横濱、大阪、神戸
（匯兌）長崎、上海、天津、横濱
正金銀行本支店
一貸附金（放利）一般財産並に土地建物の管理と引受くると
不動産抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務

正隆銀行

軍政署認可

本行受入の卜幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷様可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

ぬ號勸業貯蓄債劵（五圓劵）發賣

營口西北街第二百三十號
支配人　深水十八
（電話二百十番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子被布手巾花巾洋燭火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客起見近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧爲勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
電話（店一八三番／住所五五番）
開設老爺閣街同德院內

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖雜貨等行並匯兌最屬殷實代客經理買賣租船裝運等宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡能輪船一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜並置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存儲貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

本號開設營口創辦油搾生意多年以本營業并祕保油房壹處及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事譚玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號

保險運各物火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等色 營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組

本組開設營口綠定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名聲其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許數運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東・櫃（電話九十五番）
西義順棧內西・櫃（電話九十八番）

營口承文信記書坊

現廣西大街專賣會館南阜專棧內專售古今書籍及石印敎科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙外克己不悞　本號主人謹白

三井

電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克巳秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

王鹿芹先生久在營口信義幸豪中外所信用前有郭漁笙朱斐章素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理明治日本火險公司已歷多年

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理明治日本火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克巳　諸公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行

電話　第六十六號　第九十一號

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

弊局上木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

志岐組木材棧
材料出售

一日本石炭數種

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨綠江之各種木料品質精良價値格外從廉克巳凡中外士商光顧面議請到本棧

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟葉代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎
謹啓

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷

丸重轉運行

營口西北街（電話十八號）
既設分局　牛家屯車站（電話四十六號）
遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥軍刀販賣業

本行蒙官憲准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈爭類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街

第五號　門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商來給顧光特告白
本主人謹白

SP
糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知

營口南永盛街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

日本官造紙煙專賣告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利ト（百合花牌）提利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣

東營口西北街（舊代々木公司）
日本官煙營口專賣處

社告

我社の一週年 本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記憶すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんことを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段總振假名附とし眡めて其内容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を增聘して已に其發途に在り創刊以來殆ど醉生夢死せる我紙は今や滿一年にして始めて活躍の時機に到達しぬ因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁とし記事を精選し趣味を多樣にし以て讀者平生の眷顧に酬ゐんとす其如何なる趣向を以て江湖に見ゆるかは請ふ之を同日の紙上に徴せんことを謹んで豫告す

一、當日の本紙は特に數万枚を增刷し廣く一般に配布するを以て廣告の効能殊に顯著なるを覺ゆ依頼諸君は本月二十日迄に申込まるべし

一、營口占領第二次記念日及び本紙一週年祝賀の詩、歌、俳句等を寄せられんとする諸君は廣告の切期限と同じく二十日迄に編輯局へ投寄を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

東京電報

（七月十二日發電）

●**大博覽會の内容** 博覽會開設臨時調査委員報告の内容は萬國的大規模の内國博覽會となし經費は一千万圓にして内五百万圓は國庫の支辨とし三百万圓は開催地の負擔殘餘は入場劵敷地料等より支出し開設期は明治四十五年四月より十月までとす

●**英提督請待會** 東郷軍令部長は十一日ムーア提督を濱離宮の園遊會に請待せり

●**樺太占領記念會** 南樺太占領一周年の今十二日コルサコーフにて紀念祝賀會を擧行せり

●**直江津の大火** 直江津市十一日大火あり燒失一千戸に及ぶ

●**瀛船會社の競爭** 郵船商船社外船間に北清航路の競爭日に甚たし

（七月十三日發電）

●**日加條約批准交換** 日本加奈太通商條約十二日批准交換濟と爲る日英通商條約を適用すると及び外一條より成る

●**學士院役員決定** 帝國學士院役員決定す院長加藤文學博士幹事重野文學博士第一部長穗積法學博士第二部長菊地理學博士孰れも就任せり

●**小村大使出發期** 小村大使二十日東京出發の豫定なり

●**陸相の提督招待** 寺内陸相には英國東洋艦隊司令長官ムーア氏一行を公樂園に請待せり

●**東京市の歡迎會** 東京市亦同提督を芝紅葉館に請待し歡迎の宴を開けり

●**巡査增俸問題** 巡査增俸問題近日實行せらるべし

●**關東州開放期** 遼東租借地の開放は九月一日後なるべしと傳へらる

北京電報

（七月十二日發電）

●**肅親王の回京** 豫て東邊巡視の爲め蒙地を旅行中なりし肅親王には長途の旅程を終へ今十二日北京に歸還せられたり

雜報

●**北京通信** 七月十一日 特別通信員

今迄外國人の手に在りし稅關を清國の權力下に收回せんとして前月戸部尚書鐵良外務部侍郎唐紹儀兩氏を稅務大臣に任命し爲めに外交上の一波瀾を起さしは尚諸君の記憶に新なる所に存し此の問題は英國代理公使と外務部との間に數回交渉の結果外務部より千八百九十六年英獨借款の契約第七條全文に依り從來の稅關管轄に關しては一切變更を加へずとの言言によりて一先ず落着を見候次第なるが清國側にては當時の上諭に據り稅務大臣を有名無實の者たらさらしめんが爲め既に不日其事務所を開き稅關事務を執掌せしむるに決し目下外務部附近の張翼の故宅を借り受け事務所となすが爲め相當の修繕を加へ居り候清國政府は同事務所開設の曉は其英公使に對する照會の文言頗る曖昧にして唯稅關管轄に何等の變更を加へずと云ふに止まり稅務大臣は何等の意義にかゝはらず（例へば稅務内部の改良等）稅關内部に干涉せざる事の保証なく且つ前稅務大臣は總稅務司との權限關係等頗る明劃ならざるに乘じ稅務大臣をして改良其他の名義を借りて稅關事務に干預せしめ利權回收の實を擧げんとの意蘊ありたる者有之歟稅務司は爲めに大に打擊を蒙むるべしとの杞憂なる外交塲裡に起り居り候若し稅關側に於て稅務大臣の干涉を屑しとせざれば速に關係國公使を動かし再び其細目につき外務部と新交涉を開始するの外なきも既に稅關問題一段落をつげし今日清國側としては到底其の要求を容れて稅務大臣の權限を自ら削ることなかるべく稅關側にては結局其の干涉を避け難かるべく預想せられ候然らば則ち清國の稅關回收の上諭も決して藪蛇的にあらずして其獲得せる權利決して少からず候清國の利權回收運動豈決して冷笑に附すべけんや

●**滿洲鐵道の修築**

南滿洲鐵道線路の改築は同會社設立の上株式拂込後に着手すべきは勿論なれども會社設立前に於て線路車輛等の修築を要すべきもの尠なからず右の修築は一時姑息的のものとなさず後日全部の改修をなすべき基礎となし十分なる修築を加ふる筈にて本年度に於ても改築に要すべき各種材料の購入をなすと共に技術員等も多數採用する由にて既に今回工科大學を卒業せし土木機械其他の工學士五十餘名は同鐵道技術員として採用せらるゝ由なりといふ

●**本溪湖炭坑**

南滿洲鐵道會社成立の曉は東清鐵道と共に露國か清國より採掘權を獲得し居たる撫順煙臺の兩炭坑も併せて同鐵道會社の經營に移るは人の知る所なるか彼の奉天安東縣を連絡する安奉鐵道も無論其營業權に屬する次第なるも安奉鐵道は現在に於ては輕便鐵道にして輸送力に乏しく且つ沿線各地人煙稀薄にして未た貨物輸出少きも同線中本溪湖炭坑の如きは戰役前露國か採掘に着手したるのみにて其儘となり居れるも同炭坑は將來頗る有望にして行くは安奉鐵道唯一の貨物たるべき見込あり既に露人の採掘したる石炭は大倉組の手に拂下げたるも同炭坑は東清鐵道と共に平和條約の結果露國より我國に引繼きたる範圍外にあるを以て更に政府に於て清國より採掘權を得たる上南滿州鐵道をして經營せしめ撫順煙臺の兩炭坑と相俟て南滿州の一利源となるべしと

●**營口の鐵道貿易**

營口の鐵道貿易は運賃の高値なるか爲めに往々にして到底望みなきものと直斷されつゝ在るが去る十日及び十一日に於ける營口を經て滿州内地へ輸送されたる貨物の總計は十日に百八十五梱餘十一日に三百八十三梱餘にして其仕向地は元より一定すべき樣もなきも營口よりする輸入が如何に困難なる事情下に在りても到底人力を以て防壓阻害さるべからざるものなるは此の實例に見て頗る明瞭なり其の鐵道運賃を大連よりするものに倍蓰する理由の眞相如何は暫く措き自然の趨勢を利導すれば區々たる運賃引上げ以上の奏効あるべきは亦た甚だ明瞭の理由なりと或る人は語れり

●**六月中入港の各國瀛船**

同汽船數は

日本	五十隻	四萬六千四百〇五噸
諾威	七隻	三千六百十三噸
獨乙	四隻	二千六百五十二噸
英國	二十七隻	二萬一千五百十五噸
清國	九隻	八千〇二十八噸
亞米利加	一隻	二千九百三十二噸
合計	九十八隻	八萬五千百九十五噸

にして其の取扱店は松茂洋行　二十八隻　旗昌洋行　十九隻　太古洋行　十九隻　遠來洋行　十四隻　三井洋行　七隻　海仁洋行　三隻　瑞記洋行　五艘　通運公司　一艘なり而して同月中に輸出したる大豆大豆粕の數量及び其の到着地名は左の如しといふ

到着地	品目	數量
神戸	大豆粕	十四萬四千二百担
	大豆	二萬　担
門司	大豆粕	六萬六千百八十二担
武豐	大豆粕	九千二百担
	大豆	三千六百担
横濱	大豆粕	八萬七千〇九十担
	大豆	一萬七千五百担
四日市	大豆粕	五万四千十三担
	大豆	二万七千八百二十担
直江津	大豆粕	二万三千九百二十担
合計	大豆粕	三十八万四千六百〇五担
	大豆	六万八千九百二十担
廣東	大豆粕	二万八千〇二十担
	大豆	六万二千九百担
上海	大豆	六千〇五十担
廈門	大豆	一万六千八百担
合計	大豆粕	二万八千二十担
	大豆	八萬五千四百五十担

●**仙波少將の轉補** 滿洲守備軍步兵第三十一旅團長として大石橋に駐屯し中外其威風を想望して一方の重鎭を以て目せられたる陸軍中將仙波太郎氏には豫て賜暇歸朝中の所今回步兵第十八旅團長に轉補せられ陸軍少將渡邊祺十郎氏代つて第三十一旅團長に補せられたりといふ

●**護岸工事と新市街地** 牛家屯に於ける護岸工事は引き續き續工されつゝあるが新市街地の經營亦た繼續されつゝありて新たに家屋移轉の出願をなす向も少からずと云ふ

●**宣教師の滿洲内地視察** 福井在住の米國宣教師ダンロツク及び松山在住のブランアンの兩氏は昨日滿洲内地に於ける基督教青年會の傳導事業視察の目的を以て來營し本日遼陽に赴き夫れより大連旅順方面に向ふ由にて途中の大驛にては公開說教をなす筈なりと云ふ

●**遼陽本願寺出張所** 在遼陽なる同出張所に於ては今回同地在留民に對し毎月十日二十五日の兩回法話會を開き善男善女の爲め有益なる說教を爲すことゝ爲れる由なるか本願寺か滿州到る處鋭意布敎に從事しつゝあるは大に其力を多とすべし

●**利源調査員の來營** 各府縣より選拔せられたる滿洲利源調査員は昨今北より南より潮の如く進入し市中各旅館に佔據し各店とも上を下への大混雜にて下婢支那ボーイ等に至る迄殆と奔命に疲るゝの狀態なるは近來の大賑ひなりといふ利源調査員なる哉

銷夏錄（三）　散步道人

占者の獨白

さあ何うだい、見て遣らう。中らなかつたら見料は要らねえ。其處の御新造さん、何うです、何が可笑しいんだい。うゝやさう逃げなくつても好いぢやないか。何も取つて喰はうたあ言やあしない。こつちの小僧さんは何うだね。た前さんなんざあ青鼻汁を垂らしてえて憎氣がれえが、此間はまた素通しの眼鏡を掛けた生意氣な小僧がやつて來た。いづれお駒さんへ横戀慕の白鼠の玉子だたあ睨んだが、その野郎黄ろい喙を尖がらかして、伯父さん、おいらの店の前に榎があるかないか中てゝごらん、あゝ中るも八卦中らぬも八卦などと空嘯いた横つ面、さうなると吾儕の方でもぐつと込み上げて來る。いきなり榮螺の樣な拳骨で、此のつけ上がりめ生かしちや置かねえと云ひざま二つ許り喰はして遣つたので、おいおい泣いて歸りやがつた。全くの所持つて生れた疳癪玉のさせた業だが、あとで思ひや大人氣なかつた。疳癪は吾儕の持病だ。一体今時の野郎はお話しにならねえ、皆此の疳癪玉をどつかへしまひなくして居る。その代りにや頸ん中へ彈機がは入つてゐて、米屋の臼の樣に上下へ始終動いてゐる。辷つたと言つては頭が下がり、轉んだと言ひや轉んだで下を向く。下を向いちや赤い舌をぺろりと出しやがる。ちと可笑しくもねえのに、何と言ふとおつほゝゝいつひゝゝ、えつへゝゝ、是れぢや藤原の時平も洗足と言ふ騷ぎだ。天下を狙ふ程の膽つ玉はなくつても、山吹色と聲掛かりがありや、鯛か岩に噛じり付いた樣に、不躰裁な眞似をしやあがる。世間であの人は淡白だ分つてると云はれ、御當人も乙に悟つたやうな悟らないやうな味をやつて御茶を濁してゐる野郎がだ存外鼻摘まみと言ふのが少かあねえ。初手は喉から手が出る程に欲しくつても、至極無慾で御座いと脂下がつてる野郎が多いにや何うだ人間は慾の深い動物さ。へゝ當世は金に限りやすと大きな面をしやがる。好い加減に慾が突張つて居て、死んでも棺桶から手を出して香典を掴まうと言ふ代物だ。皆此の算盤で觀破して見せる。

●東西南北

樺太の境界は花崗石を以て南面に旭日北面に双頭の鷲を彫刻した所の境界標石を毎基準點に一個づゝ即ち三個を埋めて日露永久の國境と爲すと爲つたさうな樺太全島を我に收むるとの出來無かつたのは殘念であるが兎に角外國と陸續きの國と爲つたといふとは國家開闢以來の一新異例である▲カルサコフに此七月から『南樺太』と題する新聞が發刊された筈である交通の疎なる無趣味な寂しい露西亞の舊流刑地に文明の曙光が輝ひたのは在住民の幸福であらうとは必ずしも我田引水の言で無い▲一時は中元の贈り物なぞは非文明的のものであるといふので双方遣らず取らずが多かつたが戰爭以後大分新佛が殖えた所から昨今又急に其流行を見るやうに爲つたさうなが殊に可笑しいのは戰勝の餘慶から外國人迄が見習つて贈り物をするとに爲つた事である强者の風俗習慣は世界の風俗習慣である人間は兎に角强くヱラく爲るに限る▲乃公は東洋流だと言つて居つた伊集院天津總領事は今度英國大使館に行くとに爲つた餘り蠻カラの不得要領を振り廻はすとが出來無く爲つたのはお氣の毒否寧ろ大慶の至りだが併し英國は歐羅巴の東洋である而して新大使小村の性格は必ず新大參と相合ふ所があるであらう▲我奉天總領事館開廳劈頭の諭告中に『帝國臣民は總領事の保護及び監視の下に條約及び國際關係に基ける權利を享受するを得』といふとがある當然の言ではあるが滿州の開放地に來て營業をするといふとは我既得の權利であるといふとを各自に自覺して自己の權利を喪失するやうなへマナ事の無いやうに確かり頼みたいものである併し我領事の保護及び監視の下に立たなければならぬ事は當然である▲領事館の連中は營口が詰まらぬと言つて頗るコボし通しであつたが追々奉天が開け遼陽か開け鐵嶺が開ける事に爲つたら頓と營口が詰まらぬと言はぬ事に爲つたのは可笑しいでは無いか營口が詰まらぬと言ふと尚詰まらぬ滿州內地へ逐ひ遣らるゝ恐れがあるからである

日報俳壇　野梅選

課題集句選　其六

ゝうろ屑の浮び出やせん夏の月　千曲

眠る子の鼻をいぢるよ蠅などつ　同

ゝなつの月門川に足濯ぎけり　稻波

○なつの月水汲む人の褌かな　同

寐るに惜しと橋に出て見る夏の月　同

ゝ屋根に寐る酒亂の意地や夏の月　同

ゝ清水汲て船に戻るやなつのつき　同

淺川を馬洗ふ人やなつのつき　同

舷に鯛きる人やなつの月　同

◎夏の月橋から尿垂れにけり　同

ゝ餘花白し森や夏のつき　同

夏の月奇雲奇峰を照すかな　同

▲夏季雜題　期日又句數をかぎらす

▲課題　雲の峰　蟬　午睡　七月末日まで

本社編輯局俳壇宛に御投寄を乞ふ

關内外鐵道

上り　營口發前八、三〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着[illegible]

下り　山海關發前七、〇五　錦州同后三、三五　溝幇子同二、四五　營口着[illegible]

東清鐵道

上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五七　營口發前六、三三　后九、三三　大石橋着同[illegible]

下り　溝幇子發后五、〇〇　新民屯着同六、五七　大石橋發前八、一五　后二、一五

淡谷

本號開設　營口東青堆子發賣　栢木方料　栢木元料　紅松料　木油　松方料　元木大小　凜子廿四尺　百木大并　木板　北木材出[illegible]

會席　營口警務課

和洋諸雜貨　食料品卸小賣　奉天小南門ノ後　中越洋行

天氣　營口地方入氣豫報　自十二日午後六時至十三日午後六時

短篇小説　幼友達

吹田蘆風

三

行く水の歸らぬ幼き昔は、例へば夕暮時の大野原、煙り渡れる青草の果てに、一つゞきの松林、げに花よりも朧にて、唐紅に夕映えし空をゆら〳〵と舞ふ雲の姿も、漸く暗き色と一つになり行く。ふと見付け出でしは金星の影、森の梢に差懸りて、下界の人には何やら更に分からぬ細語、人を招くらむ樣にも覺えて、床しさは何に例へむ方もなく、斯くて可惜しや、薄黒き雲に隠れ行く姿は、忘れむとしても忘れ難し。幼き折りの事。年經るにつけ、漸く忘れ行きて、樂しかりしこと、泣きたかりしこと、さては竹馬に乗りて遊びし友の、名さへ顔さへ兎角忘れ勝ちなるものから、只罪もなく煩ひもなくて、たわいもなく遊び樂みし昔の事を想ひ起こせば、云ひ知らず慕しくして、わが心も自ら清めらるゝ樣なり、さて予は謙ちやんと友達になりてより、學校より歸るや否や、鞄を玄關に投り出して蜻蛉取り、木登りなどに諸共に遊び暮らしける、遂には交通の便を計りて、庭の境なる杉の垣根に、大なる穴開けて、予が父に見付からぬ樣に通り抜けしたりき。謙ちやんの家には奥座敷と二三間離れたるところに、六疊許りの離座敷ありて、其前の小狹き庭には、牽牛花の小鉢多く並び居たりき、奥座敷の椽の前には、いと大なる青銅の洗水鉢ありて、其家には相應しからぬ物とぞ見えし。其他金物の諸道具に、予が未だ見ざりし貴げなる物多くありて、今覺え居るは、奥座敷の床の間なる仁王樣の金物なりき。謙ちやんの父は痩せたる人にて、いらいらしき眼に例の商人氣質とやらもほの見えて、狹き額には憂の雲常に晴れやらぬ樣子、何となく予の好まぬ人物なりき。母はいと優しげなる人にて、いたく謙ちやんを愛し居たるが如く、父なる人とは違ひ、よく予に謙坊と仲善くして下さいよなど云ひたりき。謙ちやん姉は其頃は十六七なりけむ、よくは覺えねど、いと美しき温和しき人のやうなりき。予一葉女史の「十三夜」を讀む毎に、其女主人公なるお關とは、必ず謙ちやんの姉さん面持ならむと想はれてならず、名は繁子とか云ひし、其後予が姉と友達になりたり。謙ちやんの妹は未だ赤坊なりき。

雜報

●祝賀催し彙報

▲旅館料理店組合　三區所屬の出し物及び所作、唄方、三味等の担當者姓名を得たれば左に記載する事とせん

▲第一區組合の部

●長唄三社祭　○○○

●所作　第三捿雪、同權兵衛、彌次、小まん、千鳥金時、万梅若蝶、同小福

●唄方　第三捿梅次、同大吉、同喜多八、日營ホテル奴、一力はま、松の家二〇か

●三味線　第三樓よね、同三光、万梅一松、日營ホテル壽、千鳥つる松、玉すし玉助、

○新曲祝駒　○○○○　引ぬき紀念踊り

●所作　第三樓十郎、五郎、四郎、千鳥奴、万梅花、同きみ子、一力一丸

●唄方　第三樓梅次、同人吉、同喜多八、一力つね、日營ホテル奴、松の家牛莊

●三味線　第三樓よね、同三光、同權兵衛、玉すし玉助、同丸八、同田舍

●鳴物　第三梅次、同彌次、松の家二〇か、千鳥金時

▲第二區組合の部

●長唄　大和董　萬藏踊

●所作及び唄方　公樂園〆吉、第一捿春駒、初音金太、第一樓わか子、金城館金花、醉花園百々枝、同小春、金城館金一、同金二

●三味線　醉月手遊、同廣八、翁亭花吉、金波捿千鳥、東邦亭金五郎、醉花園小三、同ふさ

●鳴物　樂々亭金八、三日月新玉、醉花園よね、金城館金太郎、同金勝

▲第三區は未定に付明日の紙上に揚載する事とせん

▲今金牛肉屋の不埒　在留同胞は此光輝ある紀念日を祝さんとて何れも此今の酷暑にも係らず汗を拭いそれ〳〵部署を定め準備をさ〳〵怠り無きが中に一人り元神廟街牛肉店今金は對岸の火災視して一向寄り附かず再三使を派して其手傳方を促せば自己の營業多忙なるを以て宜敷頼みます」との素氣無き挨拶に同業者一同呆れ居るが抑も今回の紀念日たる尋常の紀念日とは違ひ我同胞が斯くの如く海外千里の經域に於て從來幷人の何等觸渉的感業的お盤を有せざる營口に於て秋毫の危惧無く秋毫の顧慮無く自由に營業し得るが如く爲れるは一に二十六日なる一日の賜に負ふと最も大なりと謂ふべく夙に斯る催しは營口の性質よりするも大に人心を作興して近來の不景氣を回復する一助とも爲れば紀念會を催すといふも人の爲めにあらずして畢竟各自の爲めなれば謨角無きやう共同の行動を取るてそ却て大國民の態度にして我國民の美風とすべし今金なる者餘り卑怯を張らざる方然るべし

●花模樣新狂言

菊律好女之助

罷出でたるは菊律好女之助とて、日の出る國は尊き君の御仰を蒙り、さつきの末つ方より藩陽の辺邊に仕居致す者で御座る、日々の勤め嚴しければ、今日は骨休めを致さんと存ずる、先づ急いで參らう、夫に付いて爰に別けて心易う噺する仁、ぐずる左衛門と申す者がござる、今日も是を誘って參らせと存ずる、いや、何に見へるは、ぐずる左衛門殿、別の事でも御座らぬ今日は幸ひ骨休みの日なれば久方振にて山吹の汁、美しき花を見物いたさんと存じて、誘いに寄りまして御座る、參らせられますまいか、

やす「はゝ扱て、御失念もなう誘はせられて、滿足致して御座る、何が扱て御供致しませう、

菊「イヤ是は有がたや後とも言はず、只今より、扨て急く程に、ける程に、早や勇ましさ、騒々しき亭の前に着きたりけり、二人「ヤヨ女供は居やらぬか、身共を粗略に致いては、おん身等の爲めによくあるまいぞ、お共は藩陽城を取締る目附の者でござる、早や持て來い、山吹の汁叶ふた花を、是れはまあ何と言ふ美さ、鳳眼蛾眉、丹花の唇、恥かしながら春の霞とも覺はして御座る、何じや〳〵名は靜の方、松浦侯の侍臣にて覺へ目出度かりし父も、おん身が七ツの時に逝去り、母と共にいかい苦勞の果とな、其は〳〵隣で御座る、菊「なんと、ぐず殿この者は、身共が目を懸るで御座らう、何じや〳〵、不可とお云やるか、日頃親しき仲でも、此の事ばかりは、発し申さぬ、扨も弱い奴じや、もう逃げうせ居つたか、これ女共、近う寄りや、ぐずろ左とは事變り、役柄には似ぬ眞實もので御座る、イヤ能い香がしてござる、何じや留貴の香じやとな、昔は反魂香、今は留貴、ヤアもう目が見へぬ、早く床入りといたしてよからう、何じや聯示な事を言ふては事が違ふとな、この憎い女奴が、浮や空じやないぞへ眞實正宗、イヤじや黄金を出せと御言やるか、そなたゆへなりや生命を惜しくは御座らぬ、誓の文でも書き申うさう書く人は外にあるとお言やるか、其れは誰れ何處の何人でお居やる、サア〳〵早くお言やれ、ヘテ偖て女と申す者は愚な者で御座る身共の外に眞實者があると御思やるか、此の浮氣者め、とく〳〵亭の主とも談合して、よい思案附けてくりやれ、何じや次の骨休に來れとお云ひやるか、其の時嫌じやは聞かぬぞへ、左らば次の日に參らうぞ、お待ちやれ〳〵、南無出雲の大神、何卒この戀かなひ候へ、左なくば、館の君に訴へて縛り候らうぞ。

投書かご

▲斬髪の六十錢は何物よりも比較的高い三十錢が相當だらうと思ふ半減にさして貰ひたい若し宜けなければ僕は三十錢の床屋を開業してやつて見るが軍政署其他に干渉は無いでせうか(御尋生)▲電報配達が朝から晩までのを一纏めにせらるゝには困まる何とか出來ぬものにや(一商人)▲郵便局で爲替振込に二日もかゝるとがあるチト機敏にそして時計を正確にして貰ひたい(或小僧)▲公園の草花を袂にする猫がある矢張下等動物には困る(ニヤシ公)▲朴捻老先生に申上ます妻君達にも暑中見舞を願ひたい猫共より四圓以上のがあるから個困難なら御助勢申上ます(横刻生)▲貴紙を八頁に擴張して人事百般の安廣告と衛生顧問とを設け一般公衆の衛生上に就き講究の便を與へて貰ひたい(希望生)▲事大では青年諸士を樂しますといふ事は一つも無いやうです一つ青年倶樂部といふやうなものを設けてお互び樂しみ且つ智識の交換をしては(ゲ、ウ生)

廣告

競賣廣告中訂正

廿諸外拾五廠競爭入札廣告中七月十五日ヲ七月十七日ニ改ム

明治三十九年七月十四日　關東陸軍倉庫

溫泉披露

酷暑の候各位益々御清福の段奉賀候随て私儀今回溫泉場新築致工事落成に付本月三日開業仕候間乍御保養御臨浴あらんことを乞ふ

附言　弊店渡清一周年の祝意として入浴料當分の間普通洗湯と同樣に可致候

本泉効能

一白帶下、弛緩せる分泌多き潰瘍、僂麻質斯、
一手掌足蹠腋窩肛圍陰部等の惡臭を放し多汗症
一濕潤せる皮疹及漫性皮膚病、神經痛

七月　日

營口永世街二本町　常盤溫泉　主人敬白

各位殿

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館　(電話百三十)

各位樣

諸鐵工製作

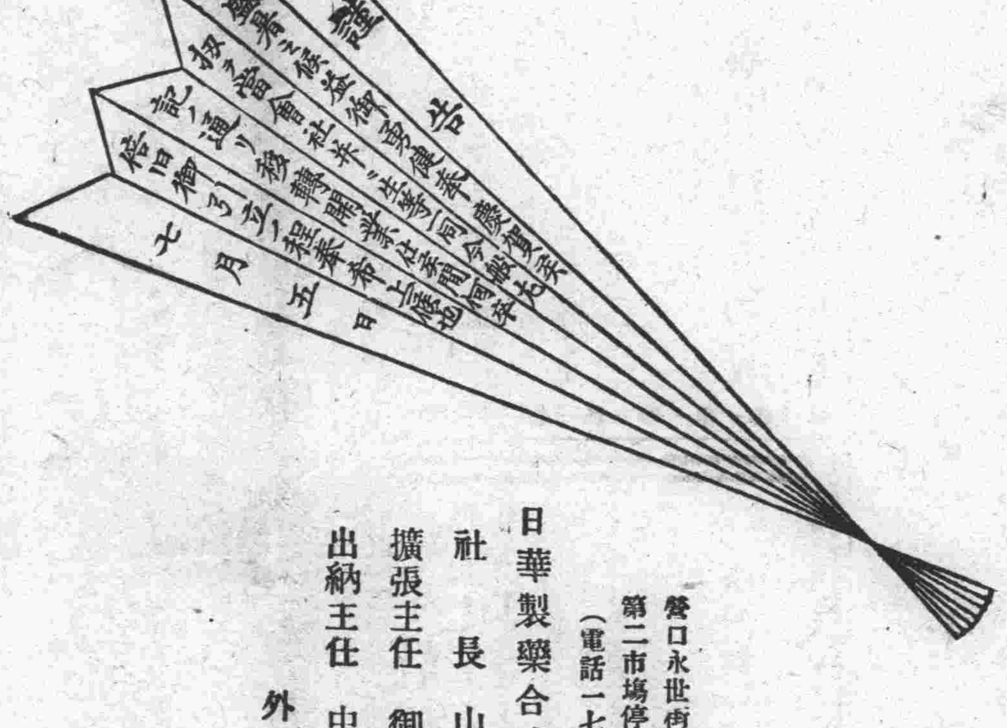
山船舶機械鐵工
線便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街　ブツシ商會東

川喜鐵工所

小料理　滿月　平野町(電一六二)

滿月支店　平野町入口　店主　青木勝惠



營口永世街八一號　第二市場停車場前　(電話一七一番)

日華製藥合資會社

社長　山田長
擴張主任　御前正之助
出納主任　中里巳午太
外一同

資本金三十萬圓
積立金百二十萬圓
被保人五萬人餘

大同生命保險株式會社　社長　廣岡久右衛門

營口代理店　松茂洋行

目下社員高木忠出張罷在り簡易に契約可致候條續々御申込相成度奉希望候

洋服調製

拜啓各位倍々御清榮之段大賀之至りに存候陳者弊會雜貨部に於て今回洋服調開業と同時に職工を撰み且つ新珍柄取揃大勉强可仕候條多少に不拘御注文被下度奉願上候　敬白

日營貿易商會

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類

卸小賣

營口永世街七十號(第二市場東)

石原商店

其外新荷着精々安價販賣

新築廣告

鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近
一 日本建西洋風貸家 間口三間奥行四間 八戸
右は鐵嶺居留地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ
明治三十九年七月
營口西北街 裕和盛號
鐵嶺小西門外大街 裕和盛支店

鐵嶺支店雜貨部並に鐵道運河運輸部をも全時に落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候

來る十五日午後三時（營口時間）より晴雨に拘はらず永久橋朝日館に於て在營口本邦人親睦會開催致すべく候間萬障御差繰御參會被下度候也
追て前日迄に會費一圓五十錢左記最寄の處へ御持參入場券御受取被下度候
明治三十九年七月十二日
牛莊日本人會
西北街 牛莊日本人會
元神廟街 加藤洋行
二本町 高坂洋行
元神廟街 平岡公司
青堆子 宮崎工程局

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花蓙
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○醬油 ○罐詰
○酢
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

㊂石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着

裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式濾水器　宇治新茶　ワイシャツ及カラー　學校用文房具各種　各種復寫簿
關東公司雜貨部（電話五號）

氷
田庄臺大盛貯氷公司
發賣元
營口元神廟街成功號三階 田庄臺大盛貯氷公司販賣部（電話一三四）
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に謹製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

御披露

小亭義皆様の御引立を蒙り日に増し繁昌致し趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉強仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客様の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月日
元神廟街 翁亭

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）
分店 奉天四平街（電話十三號） 關東洋行

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

りん病
せうかち
ボーコーカタル
即ち花柳病の特効新藥
（醫藥學細菌學應用萬國陸海軍局方參照）
商標 登録

THE RINBYOGAN
一回一九服用
博士
御典藥 複方
麻病丸
藥價 三日分三十五錢 七日分五十錢 十五日分壹圓 小包料十錢
取次全國各地及清韓各有名藥店
大阪江戸堀下通三丁目 本家（電話西千五十九番）
〔安々堂藥局〕

此藥尚治白濁五淋赤白帯下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜中嘆洛不洛散洗浄患處則奏愈速
複方 痳病丸（白濁痿）
批發所
營口永世街警務課東隣 回天堂大藥房
遼陽西街 足立大藥房

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外
志岐組 商業部

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉中外公道倘蒙中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
本行主人謹白
開設永世街第二小鐵道市場路東（電話一五二）

石材
石灰
大販賣
英治洋行
（營口西北街）（電話三二）

資本金參拾萬圓
日清合股
㊂昌
滿洲昌圖株式會社營口分局
營口元神廟街第貳九八號
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨押兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及府外轉運（與大淸滿運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙惠顧或貨客親自到本明房及各處分局賬房面議爲荷特諭白僱路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按估地市價包補此

北支那叢書
第壹編
支那政府組織 全
定價一圓
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所 營口重盛街 滿洲日報社

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便に懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收むとす
○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病 專門
日本醫院

牛莊松岡病院

內科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

醇良日本酒
サッポロビール
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品
孔雀印平野水
千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

滿韓境上唯一樂園
五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半温泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁眺望絶佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、徽毒、痳病等ニ特効アリ

宮門抄

十九日　工部　鴻臚寺　正藍旗值日　無引見

召見軍機

上諭恭錄

十九日奉

上諭廣東瓊州鎮總兵員缺着黃培松補授欽此

論說

粵事平議　（朱淇稿）

粵路官紳之衝突。爲粵省一大風潮矣。但吾報設在京師。京師爲全國首領。吾報設於此。當言全國公益之事。以吾粵一省之事。而屢次論辯不休。毋亦粵人好言粵事耶。雖然。粵路商股。集至二千餘萬。不可謂不踴躍矣。徒以官吏挾持之故。股東不能享股東之權利。於是交股本者。人懷觀望。各處股票跌價。如此情形。則將來各省所辦之鉄路。誰肯出股者。且不獨鐵路爲然。即其餘一切公益。無招商股之事。人亦將以吾粵路股爲殷鑒矣。如此則牽動二十二省全局。而非獨吾粵一省之事矣。是烏可以無論耶。吾粵人昔日頗稱頌岑春煊。今則全省人人唾罵矣。雖然。論人貴得其平。岑之督粵誠有可以稱頌之處。然就此次路事而論則雖有蘇張之舌。亦難爲岑卸罪矣。聞粵人言。岑捐六萬金。爲運動各處報館之費。其確否非僕所知。然別省人所設之報。或敢爲之。若吾粵人所設之報。則貪岑一時之利。而招全省同鄉之唾罵。且子孫戚族。皆爲鄉人所譏笑。恐雖有巨金。亦未敢爲岑作左袒也。此事之所由來。兩邊俱有不合之處。不能獨責岑。黎國廉者擁巨富驕而吝。久爲鄉望所不孚。又口舌輕薄。動輒招尤。此實爲起禍之始。梁閣讀慶桂者。祖父皆以名翰林爲京兆尹。與岑爲莫逆之交。自岑督粵。雅願倚梁爲臂助。而梁則非公不至偃室。即岑往謁。亦罕答拜。故岑亦啣之。李肇初則一輕狂書生耳。不足論也。粵人溫宗堯。以通洋律。善辦外交。爲岑所倚任者也。溫與黎遇。黎謂笑揶揄之。作種種不堪之狀。以形容其諂事岑督之醜態。故溫之憾黎國廉。大有切齒之怨。廣州知府陳望曾者。曾以貪賄爲紳士譚鶚英所控。故平日恨紳士切骨。當鐵路議辦之初。王道秉恩。陳守望曾。朱牧祖蔭等輩。皆以爲此鐵路。如若輩陞官發財得優差之大機會也。故力主抽捐。由官辦理。以遂其侵漁中飽之計焉。而紳商則不願抽捐。力主由商集股。由商辦路之說。官場中人。失此大利。遂無不痛恨紳商矣。故官紳之在華堂衝突。其原因甚多。不能以一二端竟也。岑春煊之爲人。剛暴粗率。可以激而動也。故溫陳諸人之譖黎梁諸紳也。曰他們說宮保不是人類所生。岑暴跳而起曰。然則謂我爲畜生耶。遂立召兩首縣。拿捕黎梁。其實梁爲人甚平和。會議之日。亦未作一毫忿激語。黎李雖口舌輕薄。尚不致有如此野蠻之語也。官場中人。知岑與梁爲世交。恐梁或見岑而發其覆也。故並譖梁激岑之怒。以絕岑梁之世交。其用意誠周密也。及事已決裂。岑不肯認錯。且恐商辦之局若成。於己顏面有損。遂使溫宗堯陳望曾等輩。主使左宗藩黃紹棠諸人。運動九善堂。以破壞商辦之局。聞粵人言。岑許黃景棠謂汝能破商辦之局。吾當以右江道酬汝。或以四品京堂保汝也。故黃左爲岑作鷹犬。甘受全省鄉人唾罵而不辭云。當粵路股東之議舉鐵路總辦也。岑以巡警兵守會議處之門。股東不敢入。乃募無賴子百餘人。冒稱股東。入內投票。遂舉鄭黃。而岑即據以電奏。此爲粵路股東不服之原因。雖然。已往之事不必論矣。就目下而論。則鐵路總辦之得人與否。實爲此路成敗之大機關。唐侍郎最孚衆望。然岑恨其領銜參己也。斷不肯容其辦此鐵路。且唐所辦之事甚多。亦無暇兼及於此。梁慶桂則品學兼優。鄉望最孚。然梁家貧。不能担任此事。且岑亦決不許梁辦也。黎國廉平日聲名本劣。徒以因公益入獄之故。故出獄之日。各處歡迎之。而黎遂趾高氣揚。爲衆所惡。且其人富而貪。若使總辦鐵路。其營私作弊。當在意中。與其用黎。則誠不若用鄭黃之爲愈矣。雖然。鄭官應在香港。曾以倒賬繫獄。是曾爲監犯者也。大清國雖無人。何至以監犯作三省鐵路總辦。豈不令地球萬國笑話耶。三省之體面何在。大清國朝廷之體面何在。岑之用鄭。亦可謂不思之甚矣。至於黃景棠。香港人言其在潮汕鐵路。有欺騙股東之事。如此則黃亦非能勝此總理之任者也。僕近因中華報。屢言吾粵鐵路之事。夫以外省之人。而記我粵事。其見聞自不能如我粵人之眞。且投函該報之人。亦不免各有所袒。故特詳論此事。於官於紳兩無所袒。蓋岑則剛躁暴戾。輕信屬員之譖。不加詳察。驟拿公事代表之紳。且未革先拿。捕監司大員如捕大盜。此從前之失也。後則回護前過。度量狹隘。斤斤於修怨報復。致令往日聲譽。一旦失墮。爲粵人百世所唾罵。此等咎戾。皆由自取。王秉恩。向萬鍱。陳望曾。朱祖蔭。溫宗堯諸人。則挾私怨。造譖言。且欲破商辦爲官辦藉以牟利。激成風潮。貽禍大局。黎國廉。李紀初諸紳。一則爲富不仁驕吝取怨。一則口舌輕薄招尤惹禍。以至生厲階。於今爲梗。左宗藩。鄭官應。黃景棠諸人。自殘同種。求媚權貴。破壞公益。甘爲鷹犬。凡此等等。皆有可罵之道。理合如其分金以論斷之。一律痛罵。以昭平允可也。

中外要聞

●中國稅務問題　聞稅務大臣鐵寶臣尚書唐少川侍郎議擬將東單牌樓堂子胡同張燕謀故宅改爲稅務署稅務大臣定期赴署辦公以整頓稅務又聞外交界消息云稅關問題由外部與英使礎商已見定奪然外部致英使照會詞旨頗極含糊至于稅務大臣總稅務司權限關係稍不明晰故其內詳節仍須另議核奪以免轇轕

●滬會審案交涉　英駐京代理公使日前照會外部略云上海會審公堂一案開議日久未見核奪但當日英商所受損害必須責成上海關道袁樹勛會商賠償然賠欵一案未見辦結袁道調任順天府尹不與此案相涉實爲不成体統請飭袁道暫緩履任以專責成等語但外部因袁道已經調任府尹履任決不可援已經據情覆照婉詞拒絕飭令江省羅觀察趕速來京辦理

●奏參勾匪擾民之台吉　理藩院具奏一摺爲內蒙東部敖罕扎薩克旗台吉與鬍匪勾結搶掠蒙民財產牛羊分肥營私該台吉世襲其職乃不思報國竟敢勾通鬍匪實屬罪大惡極應先請　旨將台吉世爵斥革並請電盛京將軍嚴拏懲辦等因已奉　旨允准由軍機大臣電趙爾巽將軍遵　旨拏辦矣

●電覆礦務官辦　聞外部前電新疆巡撫謂俄商邀求開採銅礦請查覆核辦等因現新疆有覆電來云俄商邀求銅礦業經嚴詞拒絕查該俄商即係前邀求石油礦之人惟該礦產均經官開採俄商無法邀求已無詞而去云云

●王主政條陳六事　近有戶部主事王主政條陳時政於節前呈請都察院代奏該條陳共有六條一廣教育一正風俗一定學派一通言語餘二條未詳聞都察院已允爲代奏云

●查辦湘省災區　某御史日前遞一封奏略謂查湘省災區甚廣小民流離失所爲數極衆應請飭下該省撫臣通飭各屬務將被災地方情形詳細查明具奏至此次急賑務得遴派妥員認眞監放毋任吏胥從中舞弊等語聞已奉　電旨著該省撫臣切實查辦矣

●警部定統一辦法　探聞巡警部近議擬定巡警人員俸糈外省尤補警務員缺不得援照六部之例以升階分發外省亦用將來各省擬設巡警司巡警使自二品以至九品等警務官缺所有簡選請補一切事宜奏歸巡警部管理云

●警部設教練所　外城總廳近奉警部札飭於東西兩分廳地面設立巡警教練所各一處以留學生充當教習所有未入學堂及新募之巡警均須送入教練所學習三月給予四等文憑方准派差該所二處一在廣興園內一在西珠市口現已開辦云

●趙留守駁復日軍官要求撤常都兵　日本駐奉軍令官照會趙留守要求撤去常都中國兵隊趙留守駁復引中日前訂滿洲條約第三欵謂日本撤兵之處即由中國派兵前往駐紮以資守護即未撤兵之處如有土匪茲擾中國亦得派兵前往彈壓日本不能強要中國撤兵云云

●照請俄使飭滿洲俄官勿伐林木　近聞外務部照會俄使璞科弟略云俄人在北滿洲任意採伐林木之舉動仍未消罷請速電告該處俄官論令禁止俟條約議定始各遵約辦理應得權利云云

●請派幣政大臣　財政處大臣會同戶部奏請簡派幣政大臣統轄天津南京湖北廣東等省鑄幣局庶他日財政權集於中央云云

●留日政法生畢業人數　東京電云中國留學日本速成法學生二百三十名同時畢業

●伊藤相國遇擲石受驚　東京電云伊藤相國起程赴高麗時途中遇匪徒三名擲石入火車中已被拏獲

●日本擴張航業　日本郵船公司此次決計擬將輪船三艘每輪四千噸航行於長江又將輪船三艘每輪二千噸航行滬埠現已向英國訂購矣

●橫濱歡迎英艦　英國艦隊日前駛抵橫濱埠該紳董悉心歡迎備極誠懇聞該兵員明日晉京

●電飭嚴防長江　聞政府日前電致各省督撫略云近因長江一帶鹽匪充斥萑苻素多雖經屢飭巡防仍恐疏懈弊生查各境襟江帶湖曲折迴環安危關繫甚重防範不可不嚴應請各飭水師營辦實力嚴加巡防務使淨絕內匪根株外匪不能乘入並速妥爲改訂長江緝捕章程以示勸懲

●戶部之出洋司員　戶部前派郎中薩蔭圖等前赴日本考查圜法以爲將來改良之步現薩等考查竣事業已回京覆命各堂官擬酌損益奏請實行並將選派計學館司員五十名出洋遊學以資歷練

雜報

●吞財報應　昨聞埠民傳說本埠有某舖財東於今春在錦州府屬馬場一帶置買新墾之荒四十方計一方五頃合二百頃某東派其舖夥趙姓前往照料趙東屯入居近鐵道及至墾荒處乃見荒草離離幾無人跡乃將該草批賣於附近居民自行芟刈共得銀洋七百餘元竟買帷車一輛健騾一頭不報主知私吞肥己乃將車騾暗御家中匿罪尋被該東偵悉呼趙竟不赴舖潛於他處乃派人向伊家驅牽車騾詎伊母年近古稀驅車則橫臥車下牽騾則橫臥騾前因告空回乃前日趙令僕牽向鐵路兩旁深草處牧之不防汽車驟從南來將該騾捕吸軌上橫將騾首軋斷咸曰斯吞報應云

●竊掠孩鐲被獲　昨聞埠民傳曰西街有劉姓之子某甲年近弱冠性癖蕩游家亦小裕其父母每給錢資究不敷其需用故習竊取無行等事前數日午後於西水門外遇一李姓小孩年六齡腕帶銀鐲一枚劉見垂涎竊附近無人驟挾兒於窪壕處擄鐲疾遁而該子其黠殆怨於壕內叫號或遭不測回家潛告其父言能識賊形狀秘以偵之該賊可獲云云既越一日而劉某適由李門經過值李與子外立該子竊以告父來者即前日擄鐲賊也李遽前捉中途於第七派遣所一鞫而服供云將鐲質押某處遂有巡捕牽向質庫起贓未悉後如何云

●尾拏海賊　前日有芝罘輪船進港聞其買辦所云華五月之中旬有海清兵船係中國巡洋艦於老鐵山西南見一小北島船式約二百石帮一商船於海面上北島者中國山左民船之俗名也遙望帮該商船若有作爲用千里鏡測之隱約爲商船裝得豆載向該船運移既而商船北向該船西往而該艦尾後踵之至山左界直入某島島內帆檣若林不能查辨竟碇於島外扼要以待越三四日該船出島識其行狀所刦豆載已俱賣出矣　艦尾於烟台埠岸見有七賊下舟登岸散游花街被艦兵掩捉一賊某甲拷鞫供認願引兵等捉拏六賊而風聲走洩內有一賊預知潛遁僅捉五賊并甲六犯共交於烟台道署訊辦時芝罘輪船已往北駛未悉該船各賊若何訊辦云

●騙局宜究　本埠有無賴者四五人在街市設局騙人或掛籤或擺碁今午前在粵東公所門口擺碁一盤施其慣技忽有一人冒然入局共輸洋二元因洋不足二人爭論互毆經傍觀者勸解多時彼此各不相下一人扭至區所呈告云

●新到馬戲　又聞本埠新到東洋馬戲在西營老道署前空地擇於本月二十四日開演士女來遊定有一番熱鬧云

●好雨知時　又聞登郡蓬黃一縣麥秋之後並未見雨農人急思種豆而不得至本月十八日忽得甘霖農人始爲種作云

行
營口 后二、10 四、10 天津 同 二、0九 六、三五
天津 着三、三四 五、三五 營口 同后三、三一 前10、四五
北京 着六、四五 山海關着 六、10 六、一
南關嶺后 九、0七 營后三、0七 奉天 同后三、五七 前 六、五七
大連着同 九、五0 同 一、三五 鐵嶺 着同七三 同10、五五
同 鐵嶺 昌 一、三五

局
東青堆子橫南
淡谷木廠

料理

尚以後吉林長春ハルビン地方へ御越シノ方有之上ヘ聊カ御示談申上度義ニ之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

豫報

昨日の氣溫

昨年同日

最高溫度八十八度七　高五度九

最低溫度七十度三　低度七

爲替相場（七月十三日）

日本向 百〇一圓七十五錢（電票百圓に付）
上海向 七十一兩二分ノ一（同）
天津向 一百四圓十二錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓?錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一?紙（六十枚）六十錢
一全 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室內裝品飾及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一?ブトン 十枚組 ?圓五十錢以上三十五圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一掛蒲團 十枚 八圓
一麻蚊帳通 一疊敷 三圓
一綿紗帳通 全 三圓五十錢

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館料理 第一樓（營口ホテル） 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六番 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一八七番、四四番） 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住普藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 遼濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百平九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯横

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松德太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街南側 温泉付大勉强キレーヲアイレヒ（電話 號）

旅館料理店 日盛館 奉天城內大市街宮華門宮殿東側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西關大街路北 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五番）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場より西へ入る
遼河運輸 同濟公司

營口 加藤洋行

新着

麻座蒲團、蓙茶、浪花簾、竹製椅子、簿記卓子、コッピープレス、謄寫版、日の丸提灯、ハンモック、蚊張、枕、印刷用紙、茶道具、蠅入らず、漆器各種、帽子、靴、レモン油、理髪道具、フートボール、

◎煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニデ御需メクダサイ

二本松 高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街八十九號 電話 號

屋新築し〇上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上 〇主 川上總吉

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷造

英治洋行

今般左記の處へ移轉仕候

永世街甲一六六（舊山田醫師邸）

英治洋行

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮奉賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府たる當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來街衛に設け以て專門の料理店となし日本式の宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生清潔を主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）

營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル

大連市吉野町 御料理 支店 金城館

大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘〇南大街（電話十四番）

日清倶樂部（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街

麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫

氷卸小賣所

一週年の祝意 寫眞定價半減 七月五日ヨリ八月五日迄 木村寫眞館

新着 惠比壽ビール

YEBISU TRADE MARK DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN

金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負

營口青堆子綏定門外 志岐組

上海 中井洋行 專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙料石彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

七月三日より十五日まで

第二回夏物の荷着大賣出

從來の通りくじ行景品を呈す

永世街 ㊍ 木村呉服店（電話八十八番）

頭つり切 陳列 店

白米、㊞醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類

（無比廉價販賣す）

永世街第廿八號 大原洋行

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御手輕御消遊に適する樣店中車輪の大勉强仕候間何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

御客樣

店一同

營口永世街第壹號 電話四十一番（彌生跡）

醉月

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 for 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙